



## <目指せオリンピック> 今・男子バスケットが熱い！

4連敗から8連勝で、ワールドカップの切符をつかんだ日本男子バスケットボール。一体誰がこんな快進撃を予想したのでしょうか。

この快挙、我が日本チームは2007年に日本で開催された以来12年ぶり、ましてや自力で勝ち獲った1998年のアテネ大会からして、実に21年ぶりの進出ということになります。

そして来るワールドカップ2019の開催地は中国。今年の8月31日より開催される予定です。ご案内の通り、我が日本チームはE組に入り、世界ランク1位の米国はじめ、トルコ、チェコと対戦します。

過去4回出場の戦績について言えば、いずれも予選敗退でした。最高位は2勝を挙げた1967年のウルグアイ大会の11位(出場13チーム)でして、それ以外は1勝しか挙げられておりません。

日本に帰化したニック・ファジーカス選手はじめ、米国で活躍中の八村塁選手、渡邊雄太選手、さらには国内リーグでも成長が見込める選手が、相当数存在しております。何より得点力のアップにつながるプレーは圧巻です。どこまで進化するか、その躍進ぶりを大いに期待しましょう！

### 【アジア地区1次予選(日本 VS 対戦国)】

	タイペイ	オーストラリア	フィリピン	勝	負	順位
日本	●69-70	●58-82	●71-77	2	4	3位
	○108-68	○79-78	●84-89			

### 【アジア地区2次予選(日本 VS 対戦国)】

	カタール	イラン	カザフスタン	勝	負	順位
日本	○96-48	○97-89	○86-70	6	0	1位
	○85-47	○70-56	○85-70			

今月の

水戸まさし応援団

「覇権と忖度」

忖度(そんたく)は「他人の気持ちをおしはかること」とある。森友・加計問題に始まり、統計不正問題と、官僚の忖度が疑われる不祥事が相次いでいる。

覇権者に対しては、自浄能力を求めたい。また忖度は保身の為でなく、他人への思いやりに使うべきではないか。

平成は終わり、新年号を冠する新たな時代が始まる。平成の時代にあった「大政党構想」は影をひそめた。そして目下、散り散りになった野党は「出口の見えないトンネル」を彷徨っているようだ。

講演会等で持論を展開し、マスコミに騒がれると撤回の一言で幕引き、本音のところは少しも変わっていない。自民一強のせいで、政治家に必要な素養が劣化してきている証左だろう。

次世代を思い、地域に忖度し、ボランティア活動に汗する水戸さん。広域的な知名度が埋没することがないよう、地道な活動が花開き実のなる事を願ってエールを送りたい。

水戸まさし応援団

Mチーム 益田 正廣

◆事務所

〒245-0008

横浜市泉区弥生台26-6

TEL: 045-814-3001 FAX: 045-814-3007

メール: kickoff310@gmail.com

◆HP: <https://www.kickoff310.com/>

◆Face Book: 「水戸将史」で検索

◆Twitter: @mito\_kickoff

◆メルマガ: 登録はHPから